

まえがき

一、本書は、明治初年以來、主として文部省で行われた國語調査事業の沿革に関し、典拠となるような資料を編集したものである。

一、國語調査事業と教科書、教育制度等は密接な関連をもつものであるが、関係面は最少限度にとどめた。ただし、明治三十五年國語調査委員會の発足までは教科書行政に関する部分が主となっている。

一、資料は、大体年代順に配列したが、委員會・協議会の構成・業績等についてはその会ごとにとめておいた。なお、別に年表をそえて編年的閲覧の便をはかつてある。

一、委員會決定答申事項、委員長報告、所管部局発表事項等施策の内容に関する文献は、今日では容易に見られないものもあるので、全部複製収録したいと思つたが、紙数の都合で次の機会にゆずつた。

一、文献そのものは收め得なかつたが、出所は一々明らかにしておいた。なお、備考として要項を摘記した場合もあるが、なるべく編集者の筆は加えない方針をとつた。

一、大正大震災、および今次の戦災による被害で、資料の収集がきわめて困難であることと、限ら

れた時日のため未調査事項もあり、誤脱の部分が少くないと思う。(とくに國會關係事項は調査未了のため割愛した。)これらは他日の補正を期したい。

一、編集は文部事務官細井房夫が担当した。

昭和二十四年三月